



「東九条こども食堂」の試みから

事例報告／京都市多文化施策審議会

発題者：許伯基（ほぺっき） 京都南部教会牧師／東九条こども食堂代表

在日大韓基督教会 つくば東京教会

1. こども食堂を始めるきっかけ



- ◆ 京都南部教会：1928年に創立。1941年に治安維持法によって閉鎖される。1976年に再建される。
- ◆ 1978年にオモニ学校が開設。識字学級に、最盛期には70人以上のオモニたちが集まる。
- ◆ 90年代以降、教会と地域との関係が途切れる。

1. こども食堂を始めるきっかけ



- ◆ 許伯基牧師の赴任後、かつての「オモニ学校」のように、京都南部教会が地域運動の中で担うことの出来る役割を模索しはじめる。
- ◆ 平日にまったく利用していない厨房と食堂に対する気づき>こども食堂へ

2. 準備

- ◆ すでに地域で行われている活動や福祉事業と「ぶつからない」ように。
- ◆ 京都市地域多文化交流ネットワークサロン、希望の家カトリック保育園、東九条まちづくりサポートセンターまめもやしなどに相談。アドバイスを求める。
- ◆ アドバイスによって決定したこと＞開始時間、発足式の開催、宣伝方法など。



2. 準備

- ◆ 絶大な協力を得る。地域運動のネットワークが「産婆役」に。
- ◆ 「毎週」にこだわった理由:「イベント」ではなく「日常生活の一部」にしてもらいたくて。
- ◆ 「木曜日の夕方、あそこに行けば、まあまあのご飯が食べられる」というイメージの定着を目指して。



3. 現在の状況

- ◆ 9月15日、発足式を行う。
- ◆ 参加した子どもは2人の完全な「大人食堂」だったが、地域のキーパーソンたちが集まる。
- ◆ 毎週木曜日、17時30分～19時30分。お客さんがはけるのは8時過ぎ。完了は9時過ぎ。
- ◆ こども(18歳まで)は無料。大人(19歳以上)は300円



3. 現在の状況

- ◆ 昨年平均:約43人(そのうち、子どもは約20人) スタッフは平均7名。ただし…。
- ◆ 今年(2017年)に入って、人数が増加傾向。準備を60人>90人分に。
- ◆ 原資は教会員からの献金と外部献金、大人からの売上金。毎回、12~15千円ほどの赤字が出る。









こども食堂 指定献金

この献金は、本教会が運営する「東九条こども食堂」の運営のために
用いられます。皆さまの持続的なご支援をお願ひいたします。

あなたのお金に浮かべて頂くが、月日がたつてから、それを見たいと思う
 너는 내 떡을 물 위에 던져라 여러 날 후에 도로 찾으리라
 コヘトの言葉(マタイ)13:12

2016年度

名前	訂 徳 井 様	金額	¥5,000
月 別	領収印	月 別	領収印
月分		月分	
備考			

在日大韓基督教會 京都南部教会

4. 意義

- ◆ 地域の「共生食堂」として。
- ◆ お母さんの声「子どもがすごく楽しみにしてるんです。保育園が一緒だったけど、小学校で分かれてしまった子たちと、ここでは遊べるので」
- ◆ 中高年の男性や、一人暮らしのお年寄りも。
- ◆ 「子どもの貧困」「孤食」のセーフティネットとして:しばらく時間が掛かるが、芽は出て来ている？



5. 今後の展開

- ◆ 視察や一見ボランティアの受け入れ
- ◆ 「ジョイント」的なイベント。
- ◆ コンサートや紙芝居など。
- ◆ ハングル学校とのタイアップ？
- ◆ こども食堂にすぐに転化できる「宗教施設」の可能性。





「東九条こども食堂」の試みから

事例報告／京都市多文化施策審議会

発題者：許伯基（ほぺっき） 京都南部教会牧師／東九条こども食堂代表

在日大韓基督教会 つくば東京教会